

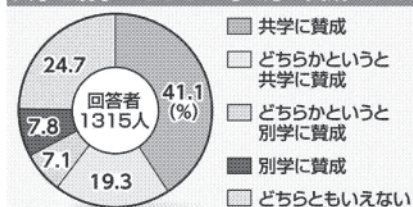
本社ウェブアンケート

男女別学の公立高校の数が群馬、埼玉県に次いで全国3位の本県。学校の在り方を巡る議論が各地で進められる中、下野新聞社が高校の別学、共学に関するウェブアンケートを実施



施したところ、共学に賛成が6割を占め、別学に賛成は1割台だったことが、18日までに分かった。年代別で見ると、共学賛成派の割合が最も高かったのは70代以上で7割に上った。一方、30代以下の2割は別学に賛成など、世代間ギャップが浮き彫りになった。(斎藤愛) 3面に関連記事

共学と別学のどちらの考え方に賛成ですか



※小数点2位以下を四捨五入しているため合計が100%にはならない

年代別

年代別	共学に賛成 (%)	どちらかという共学に賛成 (%)	どちらかという別学に賛成 (%)	別学に賛成 (%)	どちらともいえない (%)
30代以下	41.1	14.4	25.3	7.6	11.6
40代	43.1	15.6	26.5	6.2	8.5
50代	35.4	19.7	30.6	7.5	6.8
60代	42.3	22.5	21.1	6.7	7.5
70代以上	49.7	19.9	15.8	7.6	7.1

アンケートは1月30日、2月10日、下野新聞社のLINE公式アカウント「とちぎ」で実施し、1315人から回答を得た。内訳は女性802人、男性477人、無回答など36人。

下野新聞社の調べによると、全国の都道府県で男女別学の公立高校があるのは8県。このうち本県は、全日制の県立高58校のうち8校が別学となっている。

共学に賛成する主な理由として最も多かったのは「男女が一緒に学ぶ方がよい」という点で49.5%を占めた。次いで「性別に関係なく個性や能力を発揮できる」という点が34.9%。

別学を支持する主な理由は「伝統・校風は変えない方がいい」という点で65.7%に上った。

年代別では、70代以上の69.6%、60代の64.7%が共学に賛成するなど、高校生の祖父母世代で高い割合を示した。

一方、30代以下の共学賛成率は55.5%で、別学に賛成率は44.5%だった。現役高校生に賛成としたのは40代、50代共に10%台だった。

若年層ほど別学支持

高校共学「賛成」6割



(248)

小学校高学年 中学生向け 年組

2025年2月19日付・下野新聞1面

設 問

【1】この記事についての「本社ウェブアンケート」について、正しいことをすべて選びましょう。

- ①下野新聞社が実施した
- ②2025年1月30日～2月10日に実施された
- ③1315人から回答があった
- ④「高校の共学に賛成か、反対か」についてだけの質問だった

【2】記事から「出身校別」の回答率を次のようにまとめました。①、②に当てはまる数字を記事から選び答えましょう。

よう。

出身校別	共学に賛成(「どちらか」と賛成を含む)	別学に賛成(「どちらか」と賛成を含む)
共学出身者	①%	7.8%
別学出身者	50.60%	②%

【3】高校の共学・別学の様子について、ホームページで調べられます。他の都道府県の様子を調べてみましょう。

【4】みなさんは、公立高校の共学と別学についてどう思いますか。家族や友達と話し合ってみましょう。